

本学卒業生の勤務状況や現在の心境等を把握し、卒業生の支援をするとともに、大学での学びが就職後どのように生かされているか、面談とアンケートを通して検証した。

大学での学び（①専門知識、②技能、③考え方、④人間関係）が生かされているかについて、卒業生と所属長（園長等）を対象に、4つの視点で調査した。その結果、①専門知識については卒業生 86.1%、所属長 87.5%が生かされていると回答し、②技能については、卒業生 73.0%、所属長 84.2%が生かされていると回答した。また、③考え方については、卒業生 69.4%、所属長 76.9%が生かされていると回答し、④人間関係については、卒業生 60.3%、所属長 81.1%が生かされていると回答した。これらの結果から、大学の学びが可視化され、総じて教育効果が認められた。

①専門知識については卒業生・所属長とも高い結果であったが、②技能、③考え方、④人間関係は所属長の方が高値であった。卒業生の内省が低い傾向にあり、今後の指導のあり方を検討する必要があると考えられた。

今後は、学科内で情報を共有し、在学生に伝えつつ、指導の改善にも生かしていく。

表：2020 年度卒業生（5 期生）訪問結果概要

（2022.9.21 学科会議報告）

	配布数	回収数	回収率	大学での学びが現在活かされているか			
				専門知識	技能	考え方	人間関係
卒業生	86	44	51.2	86.1	73.0	69.4	60.3
所属長 (園長等)	86	40	46.5	87.5	84.2	76.9	81.1

\*対象は、2021 年 3 月卒業生であり、調査期間は 2021 年 11 月～2022 年 1 月であった。

\*各設問は、「①非常に活かされている」「②どちらかと言えば活かされている」「③どちらでもない」「④どちらかと言えばそう活かされていない」「⑤あまり活かされていない」の 5 件法で回答してもらった。表には、そのうち①と②の割合の合計を示している。